

窓辺

天下御麵の静岡

旅に出て思うことは、静岡は恵まれているということだ。温泉があり、富士山は間近にて絶景、世界一大きなタカアシガニを食べていけば、「カニ食べ放題ツアー」などに食指も動かず、お中



元にももらった
メロンは横流
し、「マツタケ
食べ放題」なら
ば少しうれしい

程度だ（ちよっと見えを張りすぎたか?）。これだけ王道を行っていけば黙っていてもお客は来ると殿様商売に走るのも無理ないとも思える。

八月三日付静岡新聞によると、静岡県は何と百十六項目もの日本一がある。興味深いのはスパゲティ年間購入量日本一だ。「イタリアの二十一番目の州」と言われるほど日本ではパスタ人気が高く、しこしこした歯ごたえの「アルデ

ンテ」を理解できるのが日本人らしい。歯ごたえのある富士宮やきそばが静岡で定着していることとも関連付けると面白い。

さらに、静岡市は宇都宮市と餃子の消費量（餃子も麵の一種）で日本一を争っているのだ。かたや駅前に「餃子の像」まで造り必死で「餃子のまち」をアピールしているにもかかわらず、静岡は「我関せず」でちよっと寂しい。

ラーメンにしても明治四三年、東京浅草に中華料理店「来々軒」を開いたのも尾崎幹一という静岡県人だったことを思うと、静岡ラーメンの価値も増そうというものだ。

スパゲティ、餃子、ラーメン、そして「富士宮やきそば」とくればもう天下御麵（免）の麵王国、黙っていてもお客が…などと考えるにはいけないと思うが…。